

A large, expressive golden brushstroke graphic that spans across the middle of the image. It starts with a long diagonal line from the left, loops around, and ends with a long horizontal stroke on the right. The text 'LD道場' is written in blue over the middle of this stroke.

LD道場

“見わたす町に、大切なものはすべてある”

# 神於寺

- ・ 神於山の南麓にある。布引山と号し、本尊大日如来、天台宗。
- ・ 本尊とは、寺院の本堂に安置され、信仰の対象として最も尊重されている中心的な仏像。
- ・ 大日如来とは、大乘仏教における振興大将である如来の一尊



# 天台宗

天台宗は特に定められた本尊がない宗派で、法華經を主な經典として扱っています。開祖は最澄で円・密・禪・戒の全てを大切にしています。天台宗で学んだあとに改組となった人も多い為、他の宗派との違いが最も少ないという特徴があります。



天台宗を開いた宗祖は『最澄』です。多くの仏教宗派を学んだ最澄の教えに従い、奈良時代に流行した「顕教」と、平安時代に流行した「密教」のふたつの要素をあわせ持ちます。「全ての人に悟りの世界を」という『妙法蓮華經（法華經）』の考えをもとに、全ての人は仏の子供で、一人ひとりが輝き合う世界にしたい、という教えを伝えています。經典は『法華經、大日經、阿弥陀經』で、本山は『比叡山延暦寺（滋賀県）』です。本尊は定められていません。

# 神於山歴史

岸和田の人とくらし ～70 年の昔を聞く～

- ・ 神於山からは鉄、金、銅が採れた
- ・ 今は竹に覆われている国見台は、昔は砂山で木が全く生えてなくて見晴らしが良かった
- ・ 今は作らなくなったが、昔は周辺で茶を作っていた
- ・ かつてはタバコ生産が岸和田でも行われ、岸和田産のタバコは香味絶好と評判であったという話があります。
- ・ 昔はミカンの苗を作っていて、和歌山県の有田の方へも苗を持っていったので和歌山のミカンは岸和田からのものだという説もあります



「神於の蛇嫁」

「むかしなあ。

神於山（こうのやま）のふもと、白原（しらばら）の里（さと）に、「しの」という、それはまあきりょうよしの女子（おなご）がいちゃってな。両親（ふたおや）は貧乏（びんぼ）な百姓やったけど、娘だけはどないかしてええとこへ嫁にやらな、と願（ねご）ちゃってんてえ。

ある、雨のしょぼつく夏の夜更（よふ）けのことや。青い素襖（すおう）（中世の武士が日常身につけていた装束（しょうぞく））を着た、ええ男が訪（たん）ねてきてな、雨宿（あまやど）りを頼（たの）んだんやし。

それが縁（えん）で、男は毎日通（かよ）て来るようになり、やがて、しのを嫁に欲しい、と申し込んだんや。なにしろ向こうはりっぱな武士（さむらい）、しのの両親（ふたおや）はふたつ返事で承知したんやなあ。

祝言（しゅうげん）もめでとう済（す）んで、花嫁は武士（さむらい）の引く馬の鞍（くら）に揺（ゆ）られながら、山向こうのお屋敷へと、木立ちの縁に消えてしもた。

ところが、それきり、しのから何（なん）の便（たよ）りもないんや。両親（ふたおや）は、どないしてるんやろ、と気いもんじゃって、こっちから訪（たん）ねてやらなと出かけたけど、山はどこまで行っても深（ふこ）うてそれらしい屋敷（やしき）はどっこにもあれへんかった。

山も小道にすすきがきらめく秋の日暮れどき。

年（とし）のいたきこりが、お社（やしろ）の裏で、片っぱだけの草履（じょり）を拾（ひろ）た。赤（あっか）い鼻緒（はなご）の真新しい草履（じょり）や。今の今まで若い女子（おなご）がはいってたんやろか、白い素足（すあし）の匂（にお）いがまといついているようやった。

きこりは、なんの気なしに、その草履（じょり）を背中の籠（かご）に入れて、帰りかけたんやてえ。と、どこからか、すすり泣くような細（ほっそ）い声が聞こえてきたんや。

お父（とう）　恋しい

お母（かあ）　恋しい

妾（うち）は　神於（こうの）の蛇嫁（へびよめ）や

なんぼ泣いても

もどられへん.....

歌（うた）てるのんは、なんと、さっき拾（ひろ）た草履（じょり）やないか。きこりは、「わあっ」とおがって逃げ出してしもた。

その晩、話を聞いた村の者（もん）は、手に手に松明（たいまつ）かざしてお社（やしろ）へ登った。

「おおっ」

しのの両親（ふたおや）は、草履（じょり）を見るなり、わなわなと震（ふる）た。

「しのや。

しのの草履（じょり）や」

ゴーッ.....夜風がほえて枝を揺（ゆ）すり、山は、たちまち時雨（しぐれ）たんやてえ。

お父（とう）　恋しい

お母（かあ）　恋しい.....

あの若い武士（さむらい）は、神於権現（こうのごんげん）の使い番ちゅう大蛇（おろち）やってんな。あんまりええ女子（おなご）に生まれついたしのは、蛇（へび）にみこまれ、連れていかれてしもたんや。お父（とう）もお母（かあ）も、今は気も狂（くる）たようになって、

「返せ、返せ、しの、返せ」

声をかぎりにおがったけど、答える声はあれへんかった。

しのの両親（ふたおや）は、せんど悲しんだあげく、山鳥になってしもてなあ、今も、神於（こうの）の里を山の紅葉（もみじ）が火の色に染めあげるころになると、

「しの、しの.....」

深い谷間から、血を吐くような山鳥の声が聞こえてくるんやてえ。」

# カギカズラ

- ・カギカズラについて希少な植物（絶滅危惧種）
- ・高血圧などに効能がある漢方
- ・神於山に自生している。
- ・千葉県では絶滅危惧種に指定されており、植物園でもあまり見ることは出来ません。

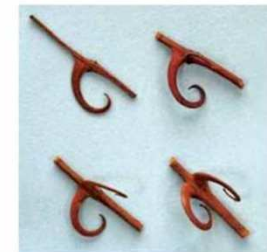


効能

植物の美しさを通じて、  
生薬と漢方処方を学ぶ

*syouyaku hyakka*

〔生薬百花〕



鎮痙、鎮静、鎮痛、血圧降下など



農家さん到大感謝！  
野菜の学び

2024年 LD道場

# 岸和田産の野菜たち

- 泉州水なす
- 泉州たまねぎ
- 彩誉（あやほまれ）
- 春菊（きくな）
- 包近の桃
- イチジク など



# その中でも今回は…

豚汁の具材に使う

- ・泉州たまねぎ
- ・彩誉（あやほまれ）
- ・春菊（きくな）

について深掘っていきます！

疲れた体を温める豚汁。

たくさん学んで、おいしくいただきましょう！

# 泉州玉ねぎ

---

- ・ 泉州玉ねぎのルーツ

明治時代の研究と努力の賜物？」

- ・ 泉州玉ねぎの特徴

日本のたまねぎ栽培の発祥の地？



# 彩誉（あやほまれ）

---



・ 岸和田生まれのブランド人参！

「衝撃のニンジン」 その由来とは…

# 春菊

---

- ・ 別名「キクナ」

関西と関東で呼び名が違う！

- ・ きくなと言えは、「泉州きくな」

日本一の菊菜産地へ挑戦！





## まとめ

- ・ 岸和田は、大阪府屈指の『農業大国』  
たまたまではなく、先人たちの知恵や、  
地の利を活かし広まった農業
- ・ 特産が生まれる秘訣  
たゆまぬ努力と研究の成果

☆今日の豚汁にも、岸和田の野菜がたくさん  
入っています！  
農家さんに感謝して、たのしくいただき  
ましょう！



LD道場

**“此処の魅力が！！  
岸和田の歴史を辿る”**

歴史編

# 町の今

～世界にいちばん近い城下町～

人 口

187,032人（2024年8月1日現在）  
186,811人（2024年10月1日現在）

面 積

72.72平方キロメートル

海 抜

0.0m ～ 866.9m

市 の 木

クスノキ

市 の 花

ばら

市 章



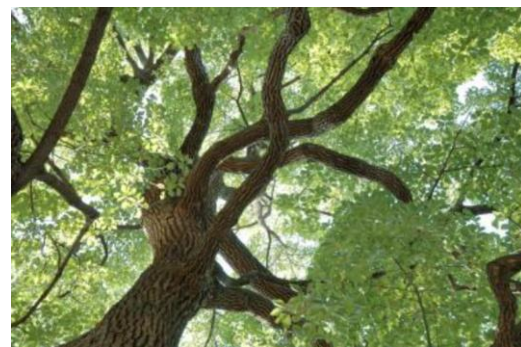
「岸」、「キ」、あるいは欄干橋の「干」からとったと言われている

市のマスコット

ちきりくん



岸和田青年会議所が主催して一般募集から誕生！



クスノキ



ばら（だんじり囃'02）

名前の由来は岸和田城の別名「千亀利城」

岸和田城をかたどった帽子に、市の花「ばら」を盛り込み、ねじり鉢巻きを巻いてガッツポーズで祭都きしわだを表現している

# 町の歴史

## 由来

南北朝時代に楠木正成の一族である**和田高家**が当時「**岸**」と呼ばれていたこの地に代官として派遣され、城を築き拠点としたことから、「**岸の和田殿**」と呼ばれたことにより岸和田と呼ばれるようになったのが有力な説である。

その当時に築いた拠点は現存の岸和田城より東に約600mのところに岸和田古城跡（今は住宅地）とし碑が残っている。



## 時代の変遷

### <戦国時代>

- ・ 紀州の**根来衆、雑賀宗**による一揆を抑え込むための拠点

### <江戸時代>

- ・ 紀州街道が整備されたことにより、**城下町**として飛躍的に発展（**5万石**）  
⇒ だんじり祭りはこの時代に始まった

### <明治時代>

- ・ 泉州綿織物をメインとした紡績工業都市として発展「**東洋のマンチェスター**」

### <昭和時代>

- ・ 臨海部の埋立地で、大阪鉄鋼金属団地と大阪木材コンビナートを造設



# 経済の歴史

## 寺田財閥

酒造を開始してから三代目当主甚兵衛の子である**甚与茂**の**南寺田家**、実弟・元吉の**北寺田家**、異父弟・利吉の**堺寺田家**の**3家**に分かれ、それぞれが岸和田で影響力のある企業を設立。

**南寺田家**は岸和田紡績、岸和田煉瓦綿業のほか、和泉銀行（現：**CTLBank**）、和泉貯蓄銀行（現：**岸和田中央会館**）を設立。岸和田市役所の至近にある**自泉会館**を市に寄贈。

**北寺田家**は3家で唯一酒造業を継続しながら、製鋼や織物などを扱う帝国産業株式会社（製綱、麻紡、綿、化繊織）を運営。

**堺寺田家**も寺田銀行と寺田紡績（現：テラボウ（貝塚））などを開業。

多くの寺田系列の企業や銀行が海岸沿いや紀州街道沿いに立ち並び、かつての岸和田はまさに**企業城下町**の様相を呈していた。



自泉会館と寺田甚与茂の像



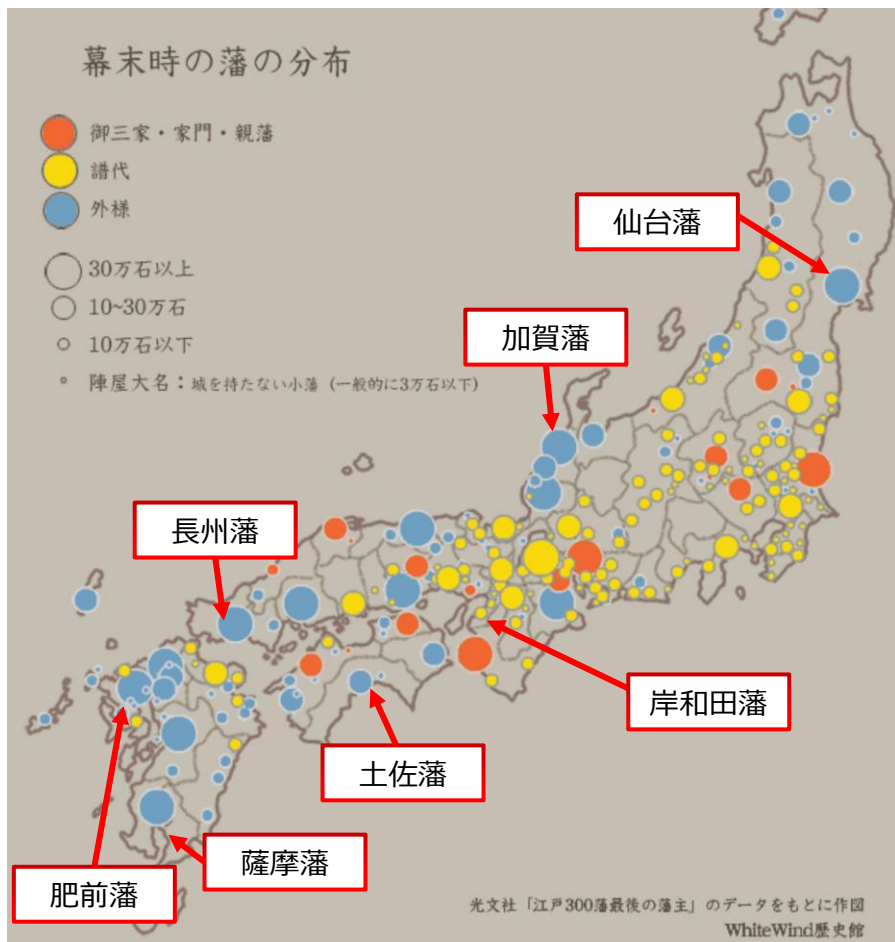
CTLBank



岸和田中央会館

# おまけ

## 幕末時の藩の分布図



## 岸和田藩主一覧

| 代  | 氏柄  | 名前   | 期間          |
|----|-----|------|-------------|
| 1  | 小出氏 | 小出秀政 | 1600年～1604年 |
| 2  | 小出氏 | 小出吉政 | 1604年～1613年 |
| 3  | 小出氏 | 小出吉英 | 1613年～1619年 |
| 4  | 松平氏 | 松平康重 | 1619年～1640年 |
| 5  | 松平氏 | 松平康映 | 1640年～1640年 |
| 6  | 岡部氏 | 岡部宣勝 | 1640年～1661年 |
| 7  | 岡部氏 | 岡部行隆 | 1661年～1686年 |
| 8  | 岡部氏 | 岡部長泰 | 1686年～1721年 |
| 9  | 岡部氏 | 岡部長敬 | 1721年～1724年 |
| 10 | 岡部氏 | 岡部長著 | 1724年～1756年 |
| 11 | 岡部氏 | 岡部長住 | 1756年～1772年 |
| 12 | 岡部氏 | 岡部長修 | 1772年～1776年 |
| 13 | 岡部氏 | 岡部長備 | 1776年～1803年 |
| 14 | 岡部氏 | 岡部長慎 | 1803年～1833年 |
| 15 | 岡部氏 | 岡部長和 | 1833年～1850年 |
| 16 | 岡部氏 | 岡部長発 | 1850年～1855年 |
| 17 | 岡部氏 | 岡部長寛 | 1855年～1868年 |
| 18 | 岡部氏 | 岡部長職 | 1868年～1871年 |

# 岸和田しらす

～岸和田照らす、岸和田しらす～

岸和田青年会議所 比江嶋晃

# 岸和田しらすについてどこまで知っていますか？

- ・岸和田しらすで有名な飲食店
- ・どれだけが水揚げされている？
- ・岸和田しらすの簡単な歴史



**岸和田では岸和田しらすを  
美味しく食べれる有名な  
飲食店があります。  
さて、その飲食店とはどの  
お店でしょうか？？？**

## 答え：きんちゃく家

岸和田漁港で揚げたばかりのしらすなど、新鮮な魚介類を扱ったグルメを存分に味わえる施設。名物「生しらす丼」、「海鮮丼」は、遠方の観光客からも好評を得ており、特に休日は早朝からいつも多くの人で賑わっている。

（営業時間：7:00～15:00 定休日：水）  
大阪府鰹巾着網漁業協同組合



## 生しらす丼や天丼などが大人気





岸和田しらすは年間どれだけ  
水揚げされている？？？

**答え：約1万4000トン**

大阪府内では毎年約1万8000トンの  
しらすが水揚げされています。  
それに対して岸和田の漁港では  
1万8000トンものしらすの水揚げされています  
ので大阪府内では岸和田だけで  
約8割を占めています。



## 岸和田しらすの簡単な歴史

岸和田市のシラスは長らく、平成26年までは地元に出回る機会は少なかったという。シラスを取る漁師たちは、競りなどを介さず、兵庫や和歌山の仲買人らと直接取引していたためだ。直接取引は、価格の変動が大きかったという。

このため、漁協は「岸和田のシラスを地域ブランドとして根付かせたい」と、平成26年に岸和田漁港に競り場を設置。府内外の加工業者が、水揚げされたシラスを見比べて買い付けできるようになったほか、競りによって価格が以前より安定したという。

また、各漁船が沖で取ったシラスを、同漁協の船がその場で預かり、港まで運搬するサービスを開始。漁獲後すぐのシラスが港に届けられるようになり、競り場そばに立地する組合の直営店では、新鮮な「生しらす丼」を提供している。

